

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	32	1	基本事務事業名	水源開発事業	事務事業名	水源開発事業	公的関与	3	シート作成日	平成23年6月15日		
	部局名	-		課名	水道課	主務課長名	大川広幸	シート作成者名	岩佐博子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2) 水道の整備			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 20 年 ~ 平成 23 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(1) 水源の確保			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水道法		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		受益者									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	市場町において、過去に水量確保が困難となったことがあり、浅井戸を新設水需要に対応します。								
				今年度	取水井築造工事一部								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 新規水源地用地確保												
	② 導水管布設工事												
	③ 新規水源地の取水井築造工事及び電気・機械設備工事												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標			
	取水井及び電気室の築造、 水源地造成		井戸φ4.0m×20m 集水管432.0m RC造り56.1㎡ 造成面積393.0㎡		進捗率	目標		50%	100%				
						実績		10%					
	導水管布設		DCIP(NS)φ300		m	目標	1,300						
						実績	1,064						
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会 計	水道事業会計				款		項		目		
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国庫支出金		千円	千円	千円							
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債	30,000	千円	50,000	千円	150,000	千円					
		その他特定財源		千円	千円	千円							
		一般財源	50,000	千円	660	千円	32,668	千円					
		計(A)	80,000	千円	50,660	千円	182,668	千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	628 千円	1.500 人	9,189 千円	2.000 人	12,089 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)			80,628 千円	59,849 千円	194,757 千円								

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
		○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	水道水安定供給のため、必要不可欠です。	○ 少ない	● 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	今後、漏水がいつ起こるかかわからないため、水源開発は有効です。	○ いえない	● いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		平成23年度完成に向け、事業を進めていきます。	○ 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している			○ 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			● 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	水道水を安定供給することにより、健全な水道事業経営を維持します。	○ 高い	● 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	
	当面の課題	工事の発注が遅れたため、予定していた工程まで進んでいないこと。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	工事の遅れを取り戻し、平成23年度に完了できるようにするとともに、計画水量の確保に努めます。					安心安全な水道水を常時供給できるよう、予定どおり工事を完了するようにします。				
委員会指摘事項											